



議会だより

平成30年

5/1

第155号

平成30年度予算特別委員会 … 42 ~ 44p	3月定例会議会リポート …… 45p
議決結果一覧表 …… 46p	13人が一般質問 …… 47 ~ 53p
議員人権同和問題研修 …… 53p	6月定例議会の日程(予定) …… 54p



松川運動公園



竈門神社



政庁跡



水城堤防(東側)

太宰府 桜絵巻



水城堤防(西側)



ごじょう保育所



御笠川沿い

平成30年3月27日撮影

平成30年度 予算 原案可決



平成30年度予算特別委員会が2月22日・3月14日・15日に開催され、一般会計、4特別会計、2公営企業会計について慎重に審議を行い、3月20日の本会議において、多数の賛成をもって原案のとおり可決されました。

一般会計	238億 3,059万円	前年度比増減額 5億 1,379万円	増額
4特別会計	133億 3,963万円	17億 6,447万円	減額
<small>国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険事業特別会計、住宅新築資金等貸付事業特別会計</small>			
2企業会計	48億 1,380万円	2億 7,466万円	増額
<small>水道事業会計、下水道事業会計</small>			

こんな質問がありました

- Q 「市長と語る会」の内容について
- A まだ具体的に決定していませんが、44自治会で会場を借り上げる想定で予算を計上しています。
- Q 公共施設整備基金積立金の計画的な積立について
- A 当初予算では、積立金の利息と公共施設の賃借料を計上していますが、実際は、決算後の余剰金を優先的に当該基金に積み立てています。計画的な積立に努力してまいります。
- Q コミュニティバスに関して、バス停の増設とダイヤ見直しについて
- A バス停の増設か所については、地域の要望を踏まえて現在検討中です。ダイヤの見直しについては、運行状況等の確認作業を進めており、年度末もしくは来年度中に改正できればと考えています。
- Q マイナンバーカードの交付状況と普及促進について
- A 交付枚数 6,405 枚、交付率 8.92%です。(H30年3月5日現在) 普及促進については、担当課だけでなく、関係各課と連携して取り組むための協議を行っているところです。
- Q 敬老会関係費に関して、敬老祝金の見直しについて
- A 今後、敬老祝金の対象年齢や敬老会のあり方について検討する必要があると思いますが、平成30年度は例年通りの予算を計上しています。



- Q 放課後デイサービスに関して、サービスの質を確保する取組みについて
- A 市内の事業所・関係機関が集まってネットワーク協議会を設置し、事業所間の連携を進め、サービスの向上を図っています。
- Q 平成30年度の待機児童の予想人数について
- A まだ正式な数字は出ていませんが、100名程度になる見込みです。
- Q 新設される保育園の増加定員について
- A 水城青稜保育園が60人、すずらん保育園(小規模保育園)が18人となっています。
- Q 健康づくり推進費に関して、元気づくりポイント事業の対象としたことで健康診査やがん検診の受診者数増加に効果はあったか
- A 右肩上がりの増加傾向は見られますが、飛躍的に数字が伸びている状況ではありません。
- Q 元気づくりポイントの交換状況について
- A 2,600名～2,700名ぐらいになる見込みです。
- Q 死亡犬猫等処理等委託料に関して、事業内容と殺処分率について
- A 死亡犬猫の処理委託業務です。過年度の殺処分率は、市で収集した件数342件、市民からの依頼で収集した件数24件で、合計366件です。
- Q 水城駅・口無線道路改良事業における移転補償費3億5,000万円について
- A 道路拡幅に支障となる、保育園等の建物移転補償費です。
- Q 保育園の移転補償費の財源について
- A 事業費の55%が国庫補助で、残りの90%に市債をあて、10%が一般財源となります。
- Q 道路事業に伴い移転する保育園の定員について
- A 保育園は、現在128名の定員を、移転後は138名にする計画を持っており伺っています。
- Q 公園施設の長寿命化修繕計画策定について
- A 平成33年以降の公園施設の長寿命化修繕計画を策定するため、国庫補助金を利用した計画策定委託料として、1,800万円を計上しています。
- Q 災害情報発信システムの登録状況について
- A 山つきの住宅地にお住まいの方は登録が多いのですが、土砂災害の危険性がない地区については、なかなか登録数が伸びていない状況です。
- Q 小学校及び中学校の学校教育施設の改修計画について
- A 学校教育施設の改修は、学校施設整備計画に沿って実施しますが、平成31・32年度分については、現在のところ内部調整中です。
- Q 中学校ランチサービスの改善点について
- A 就学援助の対象になるということ、献立検討委員会をつくって生徒や先生の声の反映に反映させること、そして、現行の1週間単位の注文を希望日で注文できる体制づくりを予定しています。
- Q 客館跡等、史跡地の見せ方の工夫について
- A バーチャルリアリティ*の技術を活用して、現地で実物を体感してもらう取組みを政庁跡で行っていますが、今後は客館跡、朱雀大路について、バーチャルリアリティの技術を活用する作業にかかりたいと考えています。



*バーチャルリアリティ(virtual reality)
仮想現実。人工現実感。コンピュータを用いて人工的な環境を作り出し、あたかもそこにいるかのように感じさせること。

3月 定例議会レポート

平成30年第1回定例議会を2月22日から3月20日まで、27日間の会期で開催しました。議案といたしましては、報告1件、諮問2件、人事2件、専決処分1件、財産取得1件、市道認定1件、組合規約改正1件、指定管理1件、条例の制定1件、条例の改廃11件、一般会計補正予算3件、特別会計補正予算2件、公営企業会計補正予算2件、一般会計予算1件、特別会計予算4件、公営企業会計予算2件の審議を行いました。

主な人事

◆太宰府市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて
教育長として、教育委員長を平成28年まで務められた樋田京子氏の任命につき同意を求めるものです。

同意

主な条例改正と制定

◆太宰府市附属機関設置に関する条例の一部を改正する条例について
太宰府市自治基本条例審議会の担任する事務の変更、及び太宰府市総合交通計画協議会、太宰府市地域公共交通活性化協議会、太宰府市空き家等対策協議会を新たに設置するものです。

◆太宰府市国民健康保険条例の一部を改正する条例について
国民健康保険の財政運営主体が市から県に移行することとともない、葬祭費支給額が県内で統一され、現行の4万円を3万円に改定するものです。

◆太宰府市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
所得割額の税額を6.8%から7.1%に、被保険者均等割額を2万5,200円から2万6,500円に改定するものです。

◆太宰府市介護保険条例の一部を改正する条例について
平成30年度から平成32年度の介護保険料の改定をするものです。

◆太宰府市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等を定める条例の制定について
平成30年度から指定居宅介護支援事業所の指定権限が県から市に移譲されることに伴い条例を制定するものです。

原案可決

主な補正予算

◆平成29年度一般会計補正予算（第5号）について、及び平成29年度一般会計補正予算（第6号）について
平成29年度一般会計補正予算（第5号）にて1億1,014万5千円の減額補正、平成29年度一般会計補正予算（第6号）にて2億9,206万2千円の増額補正がなされ、最終的に歳入歳出予算の総額がそれぞれ245億8,179万8千円となりました。

補正の主なものとしては、駐車料金にかけられている歴史と文化の環境税の増収が見込まれ8,710万円になること。旧五条保育所跡地売却にあたり、見込みより高額の入札があり、公共施設整備基金に積み立てるものです。

◆平成30年度一般会計補正予算（第1号）について
国庫補助金の交付決定を受けた太宰府中学校の改修工事の予算を、前倒しして平成29年度の補正予算で計上することに伴う減額補正

原案可決

議案第23号 平成30年度太宰府市一般会計予算 水城駅・口無線道路改良事業に伴う修正動議 補償費等(3億3,120万円)を除く

賛成少数で
否決
賛成6 反対11

道路橋梁新設改良事業費を減額する修正案が提出されましたが、採決の結果、賛成少数で否決されました。

案件名	議決結果	公明党		宰光					市民ネット		新国会			共産党		無会派	
		小島眞由美	堺剛	宮原伸一	原田久美子	陶山良尚	入江寿	船越隆之	柳原莊一郎	徳永洋介	村山弘行	長谷川公成	橋本健	上 疆	木村彰人	神武綾	藤井雅之
議案第23号「平成30年度太宰府市一般会計予算について」に対する修正案	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○

※門田直樹委員長は予算特別委員会における過半数議決では表決権を有しません。

※以下の会派名について、一部省略して記載しています。
 公明党 公明党太宰府市議団
 市民ネット 太宰府市民ネット
 無会派 会派に所属していない議員

●提案理由（要旨）
 当該予算は、特に保育園の建物移転に伴う補償費が大きな額となっておりますが、議会に対して十分な報告・説明がなされておらず、予算特別委員会での質疑応答だけでは、審査をし尽くしたとは言えない状況です。ちなみに、この保育園の移転補償費は、道路計画線が保育園建物に50センチ程度かかることから、建物全部を移転・再築するための費用です。

しかしながら、道路計画線を建物本体にかからないように設定する場合でも、附帯工作物及び立木等を撤去することで、計画歩道幅2.5mに対して2.0m程度の歩道幅を確保することも十分可能であり、事業目的を概ね達成できることも考えられます。よって、保育園の移転によらない道路計画の検討も含めて、改めて十分な報告・説明を受けた上で審議を行い、最終結論を出すべきであると考えます。 発議者：木村委員

●発議者に対する質疑（要旨）
質問：いろいろな事業について、議会に対して説明をした方がいいが、しなければならないと言うことにはならないと思う。議会に対して十分な報告・説明がないと、執行部はいろいろな事業はしてはいけないのか？
答弁：重要な案件については、しっかり議会に対して説明をする必要があると考えます。
質問：当事者や地域の方たちがある程度納得したものを、議会がひっくり返すことによる混乱についてはどう考えるか？
答弁：全市民的に、全市民的に問題があるものについてはしっかり検討しなければならないし、予算の執行をストップすることもあり得ると思います。
質問：国庫補助をもらって進めている事業であり、事業を進める上での混乱が、国と本市の関係に何らかの悪影響が及ぶことになるのではないかと？
答弁：継続的な補助事業であっても、市として補助事業の基準に合っているか確認しながら進めていく必要があります。
質問：当該補助事業は平成31年度までの期限があり、それを過ぎてしまうと全額市が負担することになるのでは？
答弁：再検証の結果、歩道幅が50センチ狭くなくても道路管理上許容できるとなった場合は、移転補償費を使わなくなるわけですから、まずはそこをしっかりと検討したいということです。

●修正案に対する討論（要旨） 発言順
反対：村山委員 平成20年から継続する事業であり、今まさに保育園の移転で完成しようとしている。国の補助金も平成31年で終わる中、執行部もいろいろ検討した結果であると考え、修正案に反対する。
賛成：長谷川委員 執行部から資料を提出いただき説明してほしかった。また、移転補償費も大きいため、移転再築される保育園についてももっと定員増を検討して欲しかった。よって、きっちりとした説明・報告を受けた上で審議したいと考え、修正案に賛成する。
反対：徳永委員 30年後、50年後のことを考えて、より安全な歩道・道路を造らなければならない。目先ではなく、今の保育園の状況とか将来のことを考え、修正案に反対する。
賛成：藤井委員 事業の必要性は理解するが、口頭による説明を聞くのではなく、資料に基づいて検証する必要があるのではないかと考え、修正案に賛成する。
反対：小島委員 今回は行政側にも反省をしていただきたいと思っている。やはり大きな事業であり、市単独の事業ではないことの影響を考え、修正案に反対する。
賛成：上委員 執行部は、もっと早い段階で事業内容を議会に説明するべきであり、今後も同様なことがあってはならないと考え、修正案に賛成する。
賛成：笠利委員 道路事業については把握していたが、保育園が丸ごと移転することまでは聞いていなかった。大きな予算を伴うものについては、十分内容を知ったうえで判断する方がよいと考え、修正案に賛成する。
反対：原田委員 保育園が御笠川の真横にあることから防災上の心配もあり、また55%の国費も出るのであれば移転してもよいのではないかと考え、修正案に反対する。
反対：陶山委員 大きな事業費を伴う事業であり、執行部は説明責任をしっかりと果たしていただき、事前に協議ができれば一番よかったと考える。しかしながら、当該道路事業の重要性を考え、修正案に反対する。

全会一致で可決した議案

案件	議案番号	案件名	議決結果
1	報告第1号	専決処分の報告について(学童保育所指導員の瑕疵による事故の損害賠償の額の決定)	-
2	諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任
3	諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任
4	議案第1号	太宰府市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意
5	議案第2号	専決処分の承認を求めることについて(太宰府市税条例の一部を改正する条例)	承認
6	議案第3号	財産の取得(史跡地)について	可決
7	議案第4号	市道路線の認定について	可決
8	議案第5号	福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更について	可決
9	議案第6号	太宰府市立北谷運動公園の指定管理者の指定について	可決
10	議案第7号	太宰府市附属機関設置に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
11	議案第8号	太宰府市古都・みらい基金条例の一部を改正する条例について	原案可決
12	議案第9号	太宰府市土地開発基金条例を廃止する条例について	原案可決
13	議案第10号	太宰府市手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決
14	議案第11号	太宰府市重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
15	議案第15号	太宰府市指定地域密着型サービスの事業者の指定に関する基準及び事業の人員、設備及び運営の基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
16	議案第16号	太宰府市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
17	議案第17号	太宰府市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等を定める条例の制定について	原案可決
18	議案第18号	平成29年度太宰府市一般会計補正予算(第5号)について	原案可決
19	議案第19号	平成29年度太宰府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)について	原案可決
20	議案第20号	平成29年度太宰府市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)について	原案可決
21	議案第21号	平成29年度太宰府市水道事業会計補正予算(第2号)について	原案可決
22	議案第22号	平成29年度太宰府市下水道事業会計補正予算(第2号)について	原案可決
23	議案第25号	平成30年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
24	議案第27号	平成30年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について	原案可決
25	議案第28号	平成30年度太宰府市水道事業会計予算について	原案可決
26	議案第29号	平成30年度太宰府市下水道事業会計予算について	原案可決
27	議案第30号	平成29年度太宰府市一般会計補正予算(第6号)について	原案可決
28	議案第31号	平成30年度太宰府市一般会計補正予算(第1号)について	原案可決
29	議案第32号	太宰府市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	同意
30	発議第1号	太宰府市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決

賛否の分かれた議案

(個人ごとの表決結果を賛成○、反対×で表しています)

件数	議案番号	案件名	議決結果	公明党		幸光				市民ネット		新政会		共産党		無党派		
				小島真由美	堺剛	宮原伸一	原田久美子	陶山良尚	入江寿	船越隆之	柳原庄一郎	徳永洋介	村山弘行	長谷川公成	上疆	木村彰人	神武綾	藤井雅之
1	議案第12号	太宰府市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	議案第13号	太宰府市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	議案第14号	太宰府市介護保険条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	議案第23号	平成30年度太宰府市一般会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	議案第24号	平成30年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	議案第26号	平成30年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※橋本健議長は本会議における過半数議決では表決権を有しません。
 ※以下の会派名について、一部省略して記載しています。
 公明党：公明党太宰府市議団
 市民ネット：太宰府市民ネット
 無党派：会派に所属していない議員
 新政会：太宰府新政会
 共産党：共産党太宰府市議団



木村 彰人 議員

問 近隣市との連携は

Q 本市に隣接する筑紫野市と大野城市とは、市街化区域が複雑に入り組む市境付近で、道路や交通、土地利用者等の様々な不整合が生じており、まちづくりの連携が進まない状態が長らく続いている。今から28年前に春日・大野城両市が連携して進めた、一体的なまちづくりである「ハイタウン構想」にならない、今こそ「太宰府版ハイタウン構想」を計画すべきと考え、近隣市とのまちづくりにおける連携の進捗状況について伺う。

A 市長 本市におきまして、平成29年7月1日に福岡都市圏都市計画区域の整備、開発及び保全の方針に沿った太宰府都市計画マスタープランの公表を行ったところです。今後人口が維持あるいは減少する可能性が大きいなかで、持続可能で、安全・安心して暮らせる都市づくりを進めるため、居住機能や医療、福祉、商業、公共交通等のさまざまな都市機能誘導により、都市全域を見回したマスタープランとして位置づけられる立地適正化計画の策定に取り組んでいるところです。



徳永 洋介 議員

問 部落差別解消にむけての本市の取り組みは

Q 2016年に「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。この法律は部落差別の存在を公式に認知するとともに、その解消に関する施策を定めるものです。そこで市の具体的な施策について、次の3点について伺う。

①相談体制
 ②教育・啓発施策
 ③部落差別の実態調査の現状と課題

A 市長 本市は人権都市宣言を行っており、市民が互いの人権を尊重しあい、ともに生きる地域社会の実現をめざしています。同法の趣旨をうけて、平成22年策定の人権尊重のまちづくり推進基本指針の見直しについても適切に進めてまいります。市すべての施策を人権尊重の視点を保ちつつ実施してまいります。

部長 ①人権擁護委員による人権相談を法務局と連携しつつ行うとともに人権センター条例に基づく相談事業を隣保館で実施しています。
 ②学校では太宰府市9ヶ年カリキュラム、人権に視点をあてた社会科カリ

近隣市と連携



全質問項目

- ◇近隣市と連携したまちづくりの推進について
- ◇大規模住宅団地の活性化対策について

和



全質問項目

- ◇本市における部落差別解消推進法の施策について



問 ことばで終わらず 未来へ続く夢に
門田 直樹 議員

Q 市長が選挙で訴えられたことについて3点伺う。
①中学校給食に筑紫野市の給食センターを活用する案について
②福岡市営地下鉄の延伸について
③中学校完全給食実現のための財源について



A 市長 ①筑紫野市給食センターとの連携を選択肢の一つとしてお示ししましたが、相手もあることですので今後どのような方式が最適かあらゆる可能性を検討して参ります。
②本市への更なる人の往来と渋滞解消を両立させたい。そうした中、長期プランとして交通大動脈計画を立案していきま

全質問項目
◇市長の公約について
◇介護予防・日常生活支援総合事業について



問 三役体制の決定はいつ
藤井 雅之 議員

Q 今回の定例会では、副市長、教育長の人事案件が提案されておりません。市政運営の「かなめ役」でもある三役体制の整備は、早期に行う必要があると考えます。市長の所信表明において空席となつて

A 市長 副市長、教育長については、兼ねてより広い知見や改革への強い気持ちを持つ人物であることや三役のチームワークが重要であること等と述べてまいりました。あくまで特定の人物を想定したものではありません。
内外の人材について広く検討しているところであります。いずれにせよ、所信で述べましたようにできるだけ早く任命を指しておりますが、拙速であつてもいけないと考えておりますので、ご理解を頂ければと思います。

全質問項目
◇楠田市長の政治姿勢について
◇国民健康保険税及び事業について

チームワーク!



問 市長の覚悟を問う
長谷川 公成 議員

Q このたびの市長選挙に当選され、市政発展のため尽力なされることを決意されました。若さ

A 市長 所信表明で「時あたかも混迷を深め、さまざまな課題を抱えていた太宰府市政を担わせていただくことになりました。いわば運命の、めぐり合わせ、与えられた政治家としての使命だと認識しております。」と述べました。まさしくその思いで、まずは与えられた任期を4年間全うするように頑張つてまいります。そのうえで、私が太宰府と市民の皆様にとって必要とされるのであれば、これからまずと太宰府に骨を埋める覚悟です。



全質問項目
◇楠田新市長の思いについて
◇中学校完全給食について
◇安全・安心の通学路について



問 具体的な実施プランを期待する
堺 剛 議員

Q 公共交通網形成計画の策定に当たり重要な取り組みについて3点伺う。
①慢性的な渋滞解消を期待できるのか
②公共交通事業であるコミュニティバスの財政負担の適正化を図ること
③市長が所信表明の中で、将来的にも持続可能な地域公共交通を構築するためには

A 部長 ①道路網計画、形成計画を作成し、道路網、交差点及び駅前広場の公共施設と公共交通機関の整合及び交通誘導の施策、通過交通の削減等を行います。
市長 ②コミュニティバスまほろば号は、財政と利便性の両立は非常に難しい課題ですが、市内に点在する公共施設などを結んでおり、市民の利便性を考慮しつつダイヤ見直しの準備に取り組みます。
③長期的なプランとなりますが、新たな交通手段を時間的、コストの問題など考え交通渋滞解消が両立されるような可能性を追求してまいります。

全質問項目
◇本市の公共交通の取組みについて





問 「歴史の散歩道」の早期整備・改修を

原田 久美子 議員

Q 本市には、九州国立博物館や太宰府天満宮をはじめとして、史跡や観光名所が数多くあり、年間960万人もの多くの観光客の方々にお越しいただいている。

これらの観光スポットを結ぶ「歴史の散歩道」は、老朽化による道路舗装の劣化が目立ち、早急に整備、改修する必要があると考えるが、今後の対応方針について伺う。

A 部長 「歴史の散歩道」は、道路整備を行ってから20年以上が経過しており、多くの箇所が道路舗装の劣化が進んでいます。

これらの現状を改善するため、歴史まちづくり法に基づく太宰府市歴史的风致維持向上計画を策定し、この計画の中で歴史の散歩道環境整備事業を立ち上げ再整備を行う予定です。

また、部分的な補修箇所については、一般的な市営土木事業として道路補修を実施してまいります。



歴史の散歩道

全質問項目

- ◇大宰府史跡に関する整備について
- ◇公共交通について
- ◇公共施設の整備について



問 松川運動公園入口看板表示

村山 弘行 議員

Q 松川運動公園、公文書館の入口の案内板は、設置時より、見えづらい、わかりにくいとの声がありま

した。太宰府方面から来られる方も、あるいは宇美方面からは近づくまで看板が見づらい状況でございませう。今後、もっとわかりやすい看板を設置するために、県道占用も視野に入れまして協議検討していきたいと考えております。

A 部長 現在県道からの入口に看板はありますが、立て看板であり、道路がカーブになっておりますので、宇美方面からは近づくまで看板が見づらい状況でございませう。今後、もっとわかりやすい看板を設置するために、県道占用も視野に入れまして協議検討していきたいと考えております。



全質問項目

- ◇松川運動公園、上下水道事業センター、公文書館の入口看板表示について
- ◇市道縁石の反射板について
- ◇空き家、土地所有者不明の状況と対策について
- ◇国民健康保険の県との一元化に伴うことによる、国民健康保険税について



問 身近な包括ケアシステム構築のために

小島 真由美 議員

Q 住み慣れた地域で人生を最後まで自分らしく送れる、そのためには医療と介護等の多職種が連携する在宅医療介護連携体制の構築が求められる。そこで5点について伺う。

- ①本市が目指す地域包括ケアシステムの全体像と現状の課題
- ②地域の実態把握に基づいた自立支援・重度化防止の取組
- ③地域包括支援センターの複数設置と機能強化
- ④高齢者と障がい者が同一事業所でサービスを受ける共生型サービスの整備状況
- ⑤高齢者の歯科検診

A 部長 ①平成30年度より筑紫地区4市1町が共同で筑紫医師会に業務委託をして在宅医療・介護体制の構築を図ります。

②日常生活支援等の地域支援事業に力を入れると同時に、厚生労働省のシステムを活用して本市の課題の抽出をすすめます。

③地域包括ケアシステム構築の中核となるのが包括支援センターです。市域西部に現センターの支所として直営の包括支援センターを増設します。支援内容の周知についても進めていきます。

④福祉サービスの効率的運用のためにも情報提供をすすめます。



在宅医療

⑤後期高齢者医療保険制度で平成30年度から事業実施となります。

全質問項目

- ◇地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取り組みについて



問 地域包括支援センターの複数設置は

上 疆 議員

Q 現在、地域包括支援センターは、いきいき情報センター内の一カ所のみとなっており、多くの市民から少なくとも西地域に一カ所の設置を求める声が寄せられている。近隣の春日市には二カ所、筑紫野市には四カ所設置されているが、本市における複数箇所設置に向けての市長の所見と設置の際の運営方式について伺う。

A 市長 地域包括支援センターの複数設置については、これまでの経緯を踏まえた上で、現在策定中の高齢者支援計画の中で、市域の西側に新たな支所を一カ所設置する方針を示して参りたいと思います。

部長 複数設置については、第三次地域福祉計画において、平成三十一年度には福祉に関する拠点施設の設置を成果目標として設定しており、地域包括支援センター運営協議会の複数設置に関する意見書を踏まえ新たに支所一カ所を設置し、市域西側を担当圏域とする方針としておられます。その際の運営方式は直営を予定しております。



地域包括支援センター

全質問項目

- ◇太宰府市地域包括支援センターについて



問 渋滞対策について
新たな施策は

舩越 隆之 議員

Q 県道筑紫野古賀線の君畑交差点から五条交差点までの渋滞においては、五条交差点手前の五条駅入口交差点で右折する車両が数台待機している場合、直進車両を妨げることになり、渋滞の要因となっている。対策の一つとして、五条駅ロータリーから県道筑紫野古賀線にバイパス側道を作ることにより、五条駅入口交差点の渋滞緩和ができると思われる。また、五条駅入口交差点から「どんかん道」へ右折する車両が進行しやすくなると考えるが見解を伺う。

A 部長 今年度、いりませ。実施いたしました交通実態調査により、渋滞原因の解明をおこなっており、この区間の渋滞についても渋滞要因の解明を行うことにより、平成29年度に策定いたしました第2次都市計画マスタープランにも記載しております。ご質問の五条駅周辺地区の面的整備の検討を行うとともに、平成29年度から平成30年度に於いて策定いたします交通総合計画、公共交通網形成計画、立地適正化計画などにより、道路網等の見直しの検討を行うとともに県や警察など関係機関との連携を行いながら、当該区間の渋滞緩和を図ってま



全質問項目
◇渋滞対策について
◇防災対策について



問 市長の考えるまちづくり
ビジョンとは

陶山 良尚 議員

Q 本市の将来を見据えてどのようなまちにしていくのか、ある程度の方向性・ビジョンを持って市政運営に当たることが重要であり、ビジョンなくしてまちづくりはできないと考える。

A 市長 本市が持つ多くの宝を活かしながら、財政再建や渋滞解消などの諸課題を解決し、市民が住みやすく元氣あふれる都(まち)にすることが、私のまちづくりのビジョンです。そして、「7つのプラン」を具現化するため、平成30年度当初予算において、まずは「市長と語る会」の費用を計上し、市民に開かれた市政の実現を図ってまいります。そして、6月の第2回定例会における施政方針ならびに補正予算案を通して、さらに具現化してまいります。



全質問項目
◇市長の市政運営について



問 各小中学校の特色を
伸ばすために

笠利 毅 議員

Q 市内小中学校が特色ある学校づくりを進めるために、授業協力者は不可欠なものと考えている。そこで授業協力者の予算編成について3点伺う。

A 理事 ①平成21年度から授業協力者への謝礼を若干増やしたことに加え、学生サポーターを制度化し、約100万円の予算を加えたことが大きな理由です。学生サポーターについては、夏休みの補充学習のサポート、遠足の引率補助や運動会の補助といった学校行事のサポート、授業における丸つけサポートなどを行っています。

②平成21年度から5年間の決算額をもとに予算額が見直され、決定されていたものであり、授業協力者や学生サポーターの活用を意図的に減らしていたものではありません。

③専門的な知識や技能を有する方を授業協力者として招聘することは、子どもたちに学ぶ楽しさや味あわせ、学びがいがある授業を行う上で有効な手段の一つであり、結果として学校の特色ある教育活動が持続可能なものとなったたり、子どもたちの成長につながるものと考えています。



③現状分析について

全質問項目
◇市内各校の授業協力者について

平成29年度市議会議員人権・同和問題研修



市議会も構成団体の一つである「太宰府市人権・同和問題啓発推進会」の取組として、毎年、市議会議員人権・同和問題研修を実施しており、平成29年度は平成30年2月9日に研修を行いました。

今回の研修は、「部落差別の解消の推進に関する法律」が平成28年12月に施行されたことに伴い、福岡県人権施策推進懇話会会長の稲積謙次郎氏を講師に迎え、「今なぜ部落差別解消推進法か」というテーマで講演いただきました。

議会を傍聴してみませんか!!



6月定例議会の日程（予定）

日付	時間	会議名
6月 4日（月）	10時	本会議（市長提案理由説明）
6月 7日（木）	10時	本会議（質疑・委員会付託）
6月 11日（月）	10時	総務文教常任委員会
6月 12日（火）	10時	環境厚生常任委員会
6月 13日（水）	10時	建設経済常任委員会
6月 15日（金）	10時	本会議（一般質問）
6月 18日（月）	10時	本会議（一般質問）
6月 19日（火）	10時	本会議（一般質問・予備日）
6月 21日（木）	10時	本会議（報告・質疑・討論・採決）



本会議は51名、委員会は12名まで傍聴できます。
予約等の必要はありませんので、どうぞお気軽にお越しください。

◆編集後記◆

今号議会だよりの編集時期がちょうど桜の満開に重なり、編集委員会一致で表紙のテーマを桜に決定、「太宰府桜絵巻」と題して市内の桜の名所を表紙一杯に集めてみました。

この議会だよりが皆様のお手元に届く頃は、新緑まぶしい「葉桜の候」ですが、来年のお花見スポット選びの参考にして頂ければ幸いです。

さて、今号の特集記事は、平成30年度予算の審査報告です。予算特別委員会では、予算の減額修正案が提出されるなど、議員間の活発な議論と審査が行われました。また、新たな議会が編成されて初となる一般質問では13人の議員が登壇し、市政全般にわたる質問とともに、新市長の市政運営に関する質問が数多くなされました。

今は新年度がスタートしたばかりの助走段階ですが、新しい太宰府市政の動きが徐々に加速していくことでしょう。議会だよりの目に見た市政情報を、解りやすく発信してまいりたいと考えています。これからの議会だよりに、どうぞご期待ください。

（彰）

議会広報特別委員会

委員長 原田久美子
 副委員長 木村彰人
 委員 陶山良尚
 委員 入江寿
 委員 堺剛
 委員 笠利毅
 委員 柳原莊一郎